

⚠ 注意 | モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

M85

吸引シミュレータ“Qちゃん”

取扱説明書

目 次



- はじめに P.9
製品の特長とご使用上の注意
- ご使用の前に P.10
セット内容
- 実習の準備 P.11
準備
- 後片付け P.12～P.14
皮膚部の取り外し
皮膚部の洗浄
皮膚部のセット



はじめに

このたびは吸引シミュレータをご購入いただきありがとうございます。本製品は、一時的吸引法の理解を深め、実際の手技の上達を目的としたシミュレーションモデルです。医学・看護教育用の補助機器としてご使用下さい。

特 長

1. 一時的吸引法（口鼻腔内吸引・気管内吸引）の習得ができます。
2. 介護職員等による、痰の吸引等の手技の教育・研修にご利用いただけるモデルです。
3. 模擬痰を使って実際に痰を吸引するトレーニングできます。鼻腔内と口腔内から、気管部は気管切開部からカテーテルを挿入して吸引を行います。
4. 内部構造をリアルに再現、シミュレータ本体の側面は透明なため、カテーテル挿入時に長さの確認を行うことができ、内部のカテーテル挿入の様子を確認しながらシミュレーションできるので、グループでの実習にも最適です。
5. カテーテルの先端を着色していますので、カテーテルの動作の確認ができます。
6. モデル部の皮膚は脱着可能で、シミュレーションが終了したら取り外して水洗いでき、メンテナンスが簡単です。

⚠ 注意

● 取り扱いにご注意ください。

落下や強い衝撃を与えると破損の原因となります。また皮膚部の脱着の際、無理な負荷がかかりますと破損しますので十分ご注意ください。

● 印刷物をモデル表面におかないでください。

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。

● 高温多湿を避けて保管してください。

使用後は、高温多湿や直射日光のあたる場所での保管は避けてください。
変形や故障の原因となります。

● 中性洗剤又はアルコールで拭き取ってください。

モデルの汚れは水又は中性洗剤で、汚れが落ちにくい場合はアルコールで拭き、ベビーパウダーを塗布しておいてください。シンナーなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。

● ボールペンやサインペンで書き込まないでください。

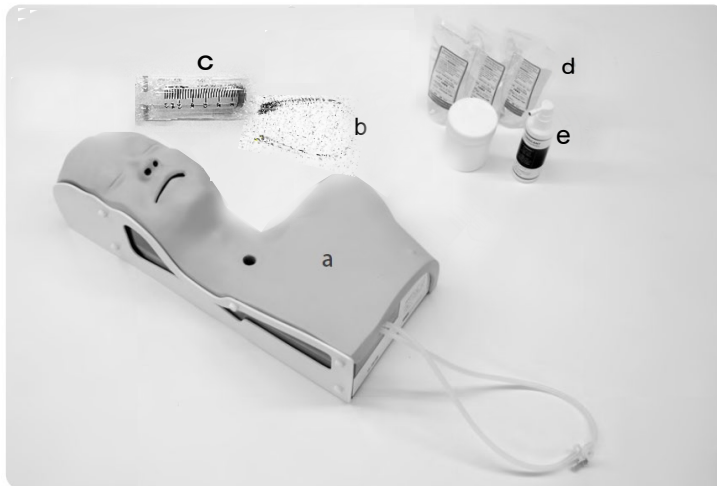
サインペン、ボールペンなどでモデルに書き込むと、インクが吸収されて消えなくなります。

● 表面が変色する場合があります。

長期間使用されない場合や経年変化で変色することがありますが、ご使用には差し支えありません。

セット内容と各部の名称

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。



- a. モデル本体 (約W450×D230×H150mm) ……1点
- b. カテーテル(14Fr)……………2点
- c. シリンジ (50ml) ……………1点
- d. 模擬痰 (150ml×3袋 / ボトル) ……………1式
- e. トレーニングモデル用潤滑剤……………1点

消耗品 一覧

コード番号	部品名
11229-070	模擬痰 / 模擬水様便
11229-020	皮膚(気管部付) 1点
11229-040	カテーテル(14Fr) 2本組
11229-050	トレーニングモデル用潤滑剤 1点



模擬痰



皮膚(気管部付)



カテーテル トレーニングモデル用潤滑剤



1 準備

1. 切れ込みから模擬痰の封を開封します。



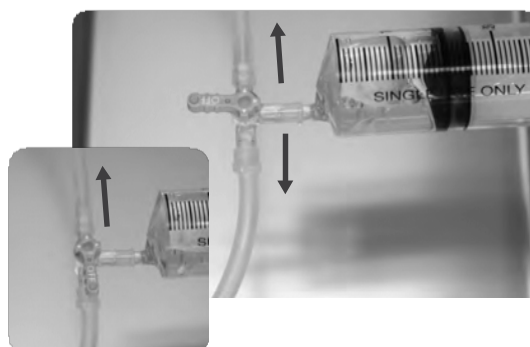
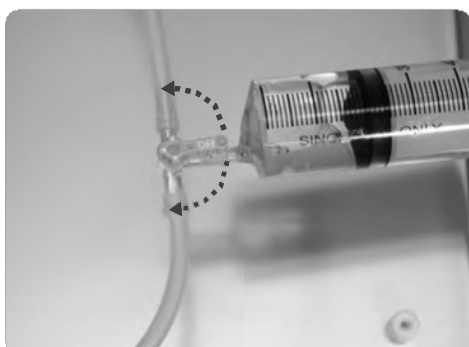
2. 付属のボトルに模擬痰を注ぎます。



3. 付属シリンジに模擬痰を注入します。



4. 本体から出ているチューブ（2本）の先端にある三方活栓にシリンジを差し込み、これから実習されるポイント（気管または咽頭部）にコックを切り替えて、適量の模擬痰を注入してください。



（注）上記の作業を行う際、必ずトレイなどの上で行ってください。

5. カテーテルと軟質特殊樹脂との摩擦により、カテーテルの挿入がしにくい時は潤滑剤スプレーを鼻腔、口腔、気管切開部に軽く吹き付けてください。カテーテルの挿入を助けます。

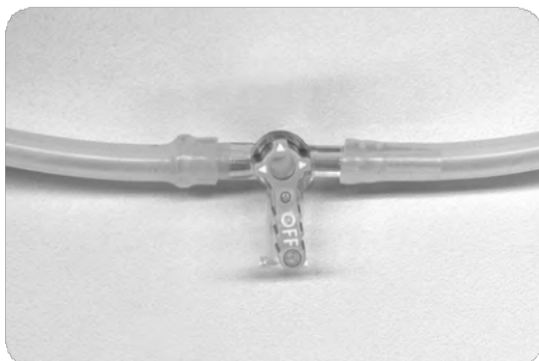


模擬痰について

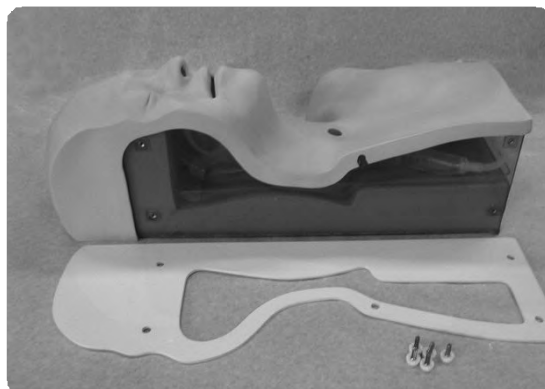
- 模擬痰は材料の特性上、粘度が変わる事があります。この場合粘度が高い時：少量の水を入れ、割り箸等で良く攪拌し粘度を調整してください。
- 模擬痰は長時間、空気に触れると乾燥しますので、使用後は必ず、容器の蓋を強く締め、密閉してください。
- 模擬痰は着色されていますので、シーツ、衣類等に付きますと落ちませんので十分注意してください。

1 皮膚部の取り外し

1. 三方活栓のcockを閉じるの位置にします。



2. 側面用アイボリー板の白いネジ（5個付き）をはずします。



3. 本体から皮膚をはずします。このとき、チューブ内に残っている模擬痰が三方活栓からこぼれないように、三方活栓のcockを切り替えるか、キャップをしてください。また、口、鼻および気管切開部からも模擬痰がこぼれる恐れがあるので十分注意し皮膚をはずしてください。



（注）頭部から皮膚をはずすと、はずし易くなります。

（注）万一、モデル内に模擬痰がこぼれたら、本体に備え付けの透明成形台をはずし、洗い流してください。

2 皮膚部の洗浄

1. 三方活栓を開いてシリンジでチューブ内に水を注入し、模擬痰を排出してください。



2. 口、鼻および気管切開部より水洗いしてください。このときは、三方活栓のコックを切り替えて外部に放出できるようにしてください。



(注) 三方活栓が差し込まれているチューブをはずすと、より早く洗浄できます。

3. 洗浄できたら、皮膚を十分乾燥させてください。(陰干し)

(注) 実習終了後、本体内部およびチューブ内に残っている模擬痰は、長時間放置されますと、乾燥し洗浄し難くなりますので、速やかに洗浄してください。

3 皮膚部のセット

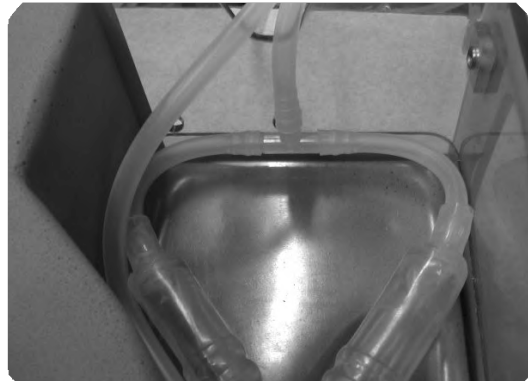
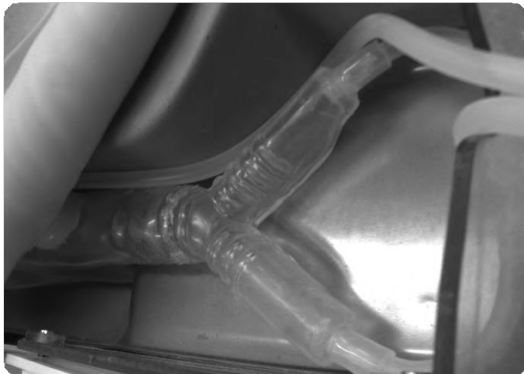
本体に皮膚をセットします。この時、

1. 皮膚を本体からはずす時と同様に、頭部からセットされるとし易くなります。
2. 口腔・気管部を本体内部の形状に合わせてセットしてください。この時、鼻腔用チューブが本体の形状に沿っているか確認してください。

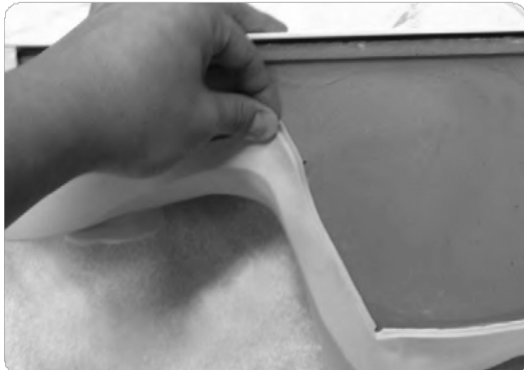


3 皮膚部のセット

3. チューブ 2 本を本体後方の透明板のくぼみから出します。この時、咽頭部からのチューブの走行に注意し、皮膚と本体との間に挟まることが無いよう、口腔・気管部に沿わしてください。また、気管支からのチューブが引っ張られていないか確認してください。チューブジョイント（T）の部分本体後方の透明板内側に沿わせる様にしてください。



4. 皮膚を本体の形状に合わせ、本体底面のマジックテープで皮膚を留めてください。



5. 皮膚を本体透明板の形状に合わせ、セットしてください。



5. 側面用アイボリー板で押さえ込むようにし、穴を合わせて白いネジで固定してください。（5ヶ所）

（注）強く締めすぎると破損しますので注意してください。





注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。

- 本製品についてのお問い合わせや不具合等ございましたら、お手数ですがお買い上げの販売店、もしくは下記（株）京都科学まで御連絡ください。



株式
会社

京都科学

URL・<http://www.kyotokagaku.com> e-mail・rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■ 本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL:075-605-2510 (直通)
FAX:075-605-2519

■ 東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL:03-3817-8071 (直通)
FAX:03-3817-8075

本書の内容は、予告なしに変更することがあります。本書の内容の一部もしくは全部を当社に無断で複写・転載することを禁じます。

本書の内容に、万一不審な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、当社もしくは販売店にご連絡ください。